



平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年8月9日

上場会社名 株式会社チノ一 上場取引所 東
 コード番号 6850 URL <http://www.chino.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 豊田三喜男
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営管理本部長 (氏名) 大森一正 TEL 03-3956-2115
 兼社長室長
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	3,803	6.7	△87	—	△51	—	△46	—
29年3月期第1四半期	3,566	△14.0	△188	—	△211	—	△163	—

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 73百万円 (-%) 29年3月期第1四半期 △508百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	△5.45	—
29年3月期第1四半期	△19.10	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第1四半期	23,782	14,156	56.0	1,570.46
29年3月期	24,229	14,456	56.0	1,596.00

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 13,307百万円 29年3月期 13,575百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	35.00	35.00
30年3月期	—				
30年3月期(予想)		0.00	—	35.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,500	5.0	780	37.7	890	39.5	500	33.9	58.39

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注)詳細は、添付資料P. 7 「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期1Q	9,560,116株	29年3月期	9,560,116株
② 期末自己株式数	30年3月期1Q	1,086,233株	29年3月期	1,054,111株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期1Q	8,484,394株	29年3月期1Q	8,574,884株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	7
(重要な後発事象)	8
3. 補足情報	9
(1) 生産実績	9
(2) 受注実績	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間のわが国経済は、企業の設備投資に回復の動きがみられ、緩やかな回復基調で推移しました。海外経済については、中国経済の成長鈍化や英国のEU離脱問題等の不安要素はあるものの欧米における緩やかな景気拡大により、比較的安定した成長が続きました。

このような環境のなか、当社は3つの経営ビジョン「温度ソリューションにおいて、グローバルナンバーワンを目指す」「現場に密着したエンジニアリング活動により、顧客に感動される企業を目指す」「すべてのステークホルダーを尊重し、企業価値の向上と持続的成長を目指す」に基づき、2020年をゴールとする新たな中期経営計画を策定して成長戦略を展開してまいります。

成長戦略推進のための方策として、製品毎に企画から発売までの開発プロセスをすべて統括するプロダクトマネージャーを設置して製品ロードマップを策定し、半導体、新素材、エネルギー等の成長産業を対象にIoT技術などを組み込んで戦略的市場を開拓するプロジェクト活動を展開してまいります。

また、国内各地域および海外各国の営業拠点単位で、顧客毎のニーズにマッチした製品やソリューションを提供すべく個社戦略を策定し、ベースロード受注と成長戦略での機器やシステムの受注拡大に、生販一体で取り組んでまいります。

当第1四半期連結累計期間の連結業績につきましては、受注が回復基調となり、受注高は5,082百万円(前年同四半期比27.8%増)、売上高は3,803百万円(前年同四半期比6.7%増)となりました。利益面につきましては営業損失87百万円(前年同四半期は営業損失188百万円)、経常損失51百万円(前年同四半期は経常損失211百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失46百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失163百万円)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①計測制御機器

売上高は1,645百万円(前年同四半期比6.6%増)、セグメント利益(営業利益)は201百万円(前年同四半期比18.2%増)であります。

②計装システム

売上高は1,041百万円(前年同四半期比6.7%増)、セグメント損失(営業損失)は56百万円(前年同四半期は営業損失59百万円)であります。

③センサ

売上高は938百万円(前年同四半期比2.7%増)、セグメント利益(営業利益)は125百万円(前年同四半期比20.7%増)であります。

④その他

修理・サービス等の売上高は178百万円(前年同四半期比35.3%増)で、セグメント利益(営業利益)は12百万円(前年同四半期比23.8%減)であります。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べて447百万円減少し、23,782百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ482百万円減少し、15,503百万円となりました。主な増減は、現金及び預金の増加266百万円、有価証券の増加98百万円、たな卸資産の増加295百万円、受取手形及び売掛金の減少1,254百万円等であります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ35百万円増加し、8,278百万円となりました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べて146百万円減少し、9,626百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ110百万円減少し、6,638百万円となりました。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ36百万円減少し、2,987百万円となりました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ300百万円減少し、14,156百万円となりました。これは剰余金の配当による減少297百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期通期(平成29年4月1日～平成30年3月31日)の連結業績予想につきましては、平成29年5月15日に公表いたしました予想値に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,843,936	4,110,870
受取手形及び売掛金	6,454,266	5,199,752
有価証券	—	98,782
商品及び製品	1,326,886	1,321,627
仕掛品	1,929,796	2,188,546
原材料及び貯蔵品	1,901,051	1,942,753
その他	572,289	682,941
貸倒引当金	△41,721	△41,293
流動資産合計	15,986,506	15,503,981
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,690,056	2,655,286
その他	1,967,308	1,978,952
有形固定資産合計	4,657,364	4,634,238
無形固定資産		
のれん	85,982	78,404
その他	717,469	668,248
無形固定資産合計	803,451	746,652
投資その他の資産		
その他	2,782,345	2,897,801
貸倒引当金	△11	△23
投資その他の資産合計	2,782,333	2,897,777
固定資産合計	8,243,150	8,278,668
資産合計	24,229,656	23,782,650

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,376,857	3,044,292
短期借入金	1,927,791	1,905,771
未払法人税等	200,104	68,717
賞与引当金	487,929	249,298
その他	756,428	1,370,780
流動負債合計	6,749,110	6,638,860
固定負債		
長期借入金	1,073,814	1,040,590
退職給付に係る負債	1,401,539	1,388,258
役員退職慰労引当金	317,049	331,568
その他	231,554	227,142
固定負債合計	3,023,957	2,987,558
負債合計	9,773,068	9,626,419
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,292,027	4,292,027
資本剰余金	4,053,230	4,053,230
利益剰余金	6,627,546	6,278,929
自己株式	△1,553,132	△1,591,892
株主資本合計	13,419,672	13,032,294
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	190,456	309,609
為替換算調整勘定	19,607	17,034
退職給付に係る調整累計額	△54,181	△51,026
その他の包括利益累計額合計	155,883	275,617
非支配株主持分	881,032	848,319
純資産合計	14,456,587	14,156,231
負債純資産合計	24,229,656	23,782,650

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	3,566,220	3,803,704
売上原価	2,540,350	2,645,509
売上総利益	1,025,869	1,158,194
販売費及び一般管理費		
給料手当及び賞与	488,295	500,648
賞与引当金繰入額	94,561	98,182
退職給付費用	29,856	30,692
役員退職慰労引当金繰入額	11,922	14,518
研究開発費	99,464	107,237
その他	490,431	494,171
販売費及び一般管理費合計	1,214,531	1,245,451
営業損失(△)	△188,661	△87,256
営業外収益		
受取利息	4,573	2,765
受取配当金	18,860	19,965
売電収入	12,954	12,451
その他	14,492	22,372
営業外収益合計	50,881	57,555
営業外費用		
支払利息	3,301	2,695
金融関係手数料	2,659	2,822
売電費用	6,992	6,185
為替差損	55,306	201
その他	5,363	9,775
営業外費用合計	73,624	21,680
経常損失(△)	△211,404	△51,381
特別利益		
固定資産売却益	—	25,025
特別利益合計	—	25,025
特別損失		
固定資産処分損	751	526
特別損失合計	751	526
税金等調整前四半期純損失(△)	△212,155	△26,882
法人税等	△31,921	9,589
四半期純損失(△)	△180,234	△36,472
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△16,471	9,746
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△163,763	△46,219

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
四半期純損失(△)	△180,234	△36,472
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△143,388	119,152
為替換算調整勘定	△188,563	△11,945
退職給付に係る調整額	3,758	3,154
その他の包括利益合計	△328,192	110,361
四半期包括利益	△508,427	73,888
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△409,744	73,514
非支配株主に係る四半期包括利益	△98,682	373

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	計測制御 機器	計装 システム	センサ	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,543,852	976,676	913,814	3,434,343	131,876	3,566,220
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,543,852	976,676	913,814	3,434,343	131,876	3,566,220
セグメント利益又は損失(△)	170,614	△59,530	104,143	215,228	16,736	231,964

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、修理・サービス等を含んでおりません。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	215,228
「その他」の区分の利益	16,736
全社費用(注)	△420,626
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△188,661

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	計測制御 機器	計装 システム	センサ	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,645,085	1,041,629	938,607	3,625,323	178,381	3,803,704
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,645,085	1,041,629	938,607	3,625,323	178,381	3,803,704
セグメント利益又は損失(△)	201,623	△56,158	125,652	271,116	12,759	283,875

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、修理・サービス等を含んでおりません。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	271,116
「その他」の区分の利益	12,759
全社費用(注)	△371,132
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△87,256

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(重要な後発事象)

(自己株式の消却)

当社は、平成29年7月11日開催の取締役会において、会社法第178条の規定に基づき、自己株式の消却を行うことを決議し、平成29年7月31日付で実施いたしました。

①消却の理由

経営環境の変化に対応した機動的な資本政策の遂行および株主価値の向上を図るため

②消却した株式の種類

当社普通株式

③消却した株式の総数

300,000株

④消却後の発行済株式総数

9,260,116株

3. 補足情報

(1) 生産実績

当第1四半期連結累計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	金額(千円)	前年同四半期比(%)
計測制御機器	1,354,356	△ 9.9
計装システム	1,037,903	5.4
センサ	813,279	△ 3.0
その他	103,357	36.9
合計	3,308,896	△ 2.8

- (注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。
 2 金額は、見込販売価額で示してあります。
 3 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 受注実績

当第1四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(千円)	前年同四半期比(%)
計測制御機器	1,836,764	19.2
計装システム	2,057,586	63.8
センサ	985,511	△ 1.5
その他	202,454	13.4
合計	5,082,317	27.8

- (注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。
 2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。